

平成27年7月のきになる通信



戸建てに子ども英語教室 大和ハウス、ベネッセと組む 賃料を保証 住宅地開拓

大和ハウス工業はベネッセコーポレーションと教室付き住宅事業で提携します。大和ハウスが建てる住宅の一角にベネッセの子供向け英会話教室を設置し、家主が賃料収入を得られる仕組みを導入します。(2015年6月6日 日本経済新聞)



リフォーム業者に業務停止 — 消費者庁

うそで高額契約勧誘

消費者庁は、住宅リフォーム会社「愛建ホーム」(福岡県)に、6か月間新規勧誘などの一部業務停止を命じました。同庁が住宅リフォーム業者に業務停止命令を出したのは初めてです。(2015年6月12日 日本経済新聞記事から抜粋)



空き町家で町おこし

篠山 高級ホテルに変身 長浜 銀行が改修ローン

歴史ある町並みが残る関西や中国などの各地で、住人のいない町家を再生させる取り組みが広がっています。銀行が町家限定の住宅ローンを始めて改修を後押ししたり、高級ホテルに衣替えさせたり。5月施行の空き家対策特別措置法も空き家の修繕を奨励。町おこしにつながるとの期待は大きいですが、所有者の協力が得られないケースも少なくありません。(2015年6月13日 日経新聞)



複層ガラス需要高水準 — 住宅メーカー拡販

省エネ性能高く

住宅の窓で断熱性の高い複層ガラスの需要が高水準になっています。住宅メーカーなどが複層ガラス窓の拡販に力を入れています。

複層ガラスは、2枚以上の板ガラスの間に空気を入れています。

複層ガラスは、約25年前に市場に出回り始め、この10年ほどで普及が進みました。2014年度の新築住宅の複層ガラス普及率は、戸建てで94%、マンションなど共同住宅で81%でした。(2015年6月19日 日本経済新聞)